

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教（産休代替） 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教 2021年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 助教				
所属学会（役職）	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部）、専門リハビリテーション研究会（編集委員）、肩関節学会、日本軟骨代謝学会、Osteoarthritis Research Society International (OARSI)、日本整形内科学研究会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	リハビリテーションのための姿勢と動作 肩関節腱板損傷・腱板断裂、関節可動域 運動担当	共著	あり	株式会社シービーアール 180頁	編者 金村尚彦, 濱口豊太	2021年
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Treadmill Exercise after Controlled Abnormal Joint Movement Inhibits Cartilage Degeneration and Synovitis	共著	あり	○ Life 2021, 11(4), 303	Oka Y., <u>Murata K.</u> , Ozone K., Kano T., Minegishi Y., Kuroo A., Arakawa K., Kokubun T., Kanemura N.	2021.4
2	Effect of Various Types of Muscle Contraction with Different Running Conditions on Mouse Humerus Morphology	共著	あり	○ Life 2021, 11(4), 284	Ozone K., Oka Y., Minegishi Y., Kano T., Kokubun T., <u>Murata K.</u> , Kanemura N.	2021.4
3	Structural and pathological changes in the enthesis are influenced by the muscle contraction type during exercise	共著	あり	○ J Orthop Res . 2021 Dec 4. doi: 10.1002/jor.25233. Online ahead of print.	Ozone K., Kokubun T., Takahata K., Takahashi H., Yoneno M., Oka Y., Minegishi Y., Arakawa K., Kano T., <u>Murata K.</u> , Kanemura N.	2021.12
4	The difference in joint instability affects the onset of cartilage degeneration or subchondral bone changes	共著	あり	○ Osteoarthritis and Cartilage. 30(3), 451-460	Arakawa K, Takahata K, Enomoto S, Oka Y, Ozone K, Nakagaki S, <u>Murata K.</u> , Kanemura N, Kokubun T	2022.3
5	Effects of exercise on muscle reinnervation and plasticity of spinal circuits in rat sciatic nerve crush injury models with different numbers of crushes	共著	あり	○ Muscle and Nerve. DOI:org/10.1002/m us.27512	Minegishi Y., Nishimoto J., Uto M., Ozone K., Oka Y., Kokubun T., <u>Murata K.</u> , Takemoto H., Kanemura N.	2022.2
6	Effect of Suppression of Rotational Joint Instability on Cartilage and Meniscus Degeneration in Mouse Osteoarthritis Model	共著	あり	○ Cartilage. DOI:https://doi.org /10.1177/19476035 211069239	Arakawa K, Takahata K, Enomoto S, Oka Y, Ozone K, Morosawa K, <u>Murata K.</u> , Kanemura N, Kokubun T	2022.1

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	足関節捻挫後の足部不安定性と捻挫再発との関係-システムティック・レビューによる調査-	共同	第9回日本運動器理学療法学会学術大会	川端空, 中尾幸暉, 寺田秀伸, 小島拓真, 榊田拓馬, 高須千晴, 加納拓馬, 金村尚彦, 村田健児	2021.9
2	変形性膝関節症動物モデル間での軟骨下骨骨梁構造変化の違い	共同	第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, オンデマンド	荒川航平, 高島啓, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.10
3	関節内損傷を伴わない非侵襲的な前十字靭帯損傷モデルの開発	共同	第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, オンデマンド	高島啓, 荒川航平, 小曾根海知, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.10
4	ラット腱板断裂術後の後療法の違いが筋変性進行に与える影響	共同	第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, オンデマンド	高橋花奈, 米野萌恵, 高島啓, 宇佐美優奈, 小曾根海知, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.10
5	膝前十字靭帯自己治癒モデルに対する関節固定が靭帯強度に及ぼす影響	共同	第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 新潟 (オンデマンド)	高須千晴, 小島拓真, 寺田秀伸, 川端空, 榊田拓真, 金村尚彦, 高柳清美, 村田健児	2021.10
6	健常高齢者における歩行時膝関節回旋可動範囲に影響を与える因子の検討	共同	第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 新潟 (オンデマンド)	喜多俊介, 小栢進也, 鈴木康雄, 松本優佳, 藤野努, 村田健児, 原和彦	2021.10
7	足部外側靭帯切除による異なる足部不安定性ラットモデルの確立	共同	第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 新潟 (オンデマンド)	川端空, 高須千晴, 寺田秀伸, 小島拓真, 金村尚彦, 村田健児	2021.10
8	ラット腱板断裂術後の運動介入が腱変性及び上肢機能に与える影響	共同	第48回日本肩関節学会 第18回日本肩の運動機能研究会	高橋花奈, 村田健児	2021.10
9	靭帯ロバスト最適化に向けた結合組織における伸張刺激の役割	単独	日本整形内科学研究会	○村田健児	2021.11
10	変形性膝関節症患者における関節不安定性に寄与する身体的特徴	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	川端空, 藤原秀平, 喜多俊介, 加納拓馬, 山際美紀, 熊谷雄基, 松本拓也, 片桐将, 萩台保之, 庄野仁美, 小泉弘明, 村田健児	2022.1
11	変形性膝関節症患者における股関節・足関節の関節可動域の調査	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	藤原秀平, 喜多俊介, 加納拓馬, 山際美紀, 熊谷雄基, 松本拓也, 片桐将, 萩台保之, 庄野仁美, 川端空, 小泉弘明, 村田健児	2022.1
12	膝前十字靭帯由来細胞における引張刺激に対するmRNA発現量の調査	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	高須千晴, 小島拓真, 寺田秀伸, 川端空, 榊田拓真, 金村尚彦, 高柳清美, 村田健児	2022.1
13	メカニカルストレスによる軟骨細胞の分子生物学的応答は関節軟骨変性より先に生じる	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	高島啓, 荒川航平, 宇佐美優奈, 高橋花奈, 米野萌恵, 榎本沙彩, 相澤幸夏, 斉藤陸, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2022.1
14	関節不安定性の抑制が軟骨下骨構造変化に与える影響	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	荒川航平, 高島啓, 榎本沙彩, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2022.1
15	二次元高速フーリエ変換を用いた自己治癒靭帯の組織学的特徴解析	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	森下佑里, 黒尾彩, 小林章, 加納拓馬, 村田健児, 国分貴徳, 金村尚彦	2022.1
16	膝前十字靭帯由来線維芽細胞におけるタンパク質分解酵素に着目したリラクシン添加の影響	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	小島拓真, 寺田秀伸, 高須千晴, 川端空, 榊田拓真, 村田健児	2022.1
17	膝前十字靭帯治癒過程における靭帯細胞のコラーゲンmRNA発現量の調査	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	寺田秀伸, 小島拓真, 高須千晴, 川端空, 榊田拓真, 村田健児	2022.1

18	健常高齢者における歩行時膝関節回旋可動範囲はイニシャルコンタクト時の足部内側縦アーチと相関する	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	○喜多俊介, 小栢進也, 鈴木康雄, 松本優佳, 藤野努, 村田健児, 原和彦	2022.1
19	装具療法が変形性膝関節症患者の関節不安定性に及ぼす影響-システムティック・レビューによる検討-	共同	第30回埼玉県理学療法学会, 埼玉(VOD)	榊田拓真, 喜多俊介, 川端空, 村田健児	2022.1
20	Effect of joint immobilization on ligament strength in self-healing model of the anterior cruciate ligament	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Onsite	Chiharu Takasu, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Takuma kano, Yuri Morishita, Sora Kawabata, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura, Kiyomi Takayanagi, <u>Kenji Murata</u>	2022.2
21	Suppression of tibia anterior instability after anterior cruciate ligament injury prevents muscular atrophy factors	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Onsite	○ <u>Kenji Murata</u> , Yuuichiro Oka, Takuma Kano, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2022.2
22	Effect of suppression of joint instability in different models on cartilage degeneration and mandibular changes	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Onsite	Kohei Arakawa, Kei Takahata, Saaya Enomoto, <u>Kenji Murata</u> , Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2022.2
23	Difference Timing In Occurrence Of Between Chondrocyte Mechanobiology Response And Cartilage Histologically Degeneration Via Mechanical Stress	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Onsite	Kei Takahata, Kohei Arakawa, Yuna Usami, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, <u>Kenji Murata</u> , Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2022.2
24	The Effect of Early Ankle Mobilization on Collagen Remodeling After Achilles Tendon Rupture and Surgical Repair	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Onsite	Moe Yoneno, Haruna Takahashi, Kei Takahata, Yuna Usami, <u>Kenji Murata</u> , Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2022.2
25	The Effects of Exercise Initiation During The Immobilization Period on Tendon Healing And Shoulder Function	共同	Orthopaedic Research Society (ORS) Annual Meeting 2022, Florida	Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kei Takahata, <u>Kenji Murata</u> , Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2022.2
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	理学療法士による基礎研究から臨床への展開	共著	オンサイト(ライブ配信)	特別企画 若手研究者シンポジウム 司会	2022.1
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金 (若手)		関節不安定性に基づく関節軟骨の潤滑機構破綻メカニズムの解明 (代表)	研究代表者	2020.4-2023.3
2	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤B)		前十字靭帯治癒過程の細胞外マトリクス合成機序解明と促進するリハビリテーション開発	研究分担者	2021.4-2024.3
3	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤C)		正常な自由運動と損傷組織への力学的ストレスは前十字靭帯と半月板の治癒を促進させる	研究分担者	2019.4-2022.3
4	令和3年度埼玉県立大学奨励研究費 (A)		膝前十字靭帯の自己治癒モデルを応用した靭帯治癒機構の解明	研究代表者	2021.4-2022.3
5	令和3年度埼玉県理学療法士会研究推進研究費補助金		足部不安定性が足部外側靭帯内メカノレセプターに及ぼす影響の調査	研究分担者	2021.4-2022.3
6	日本整形内科学研究会 JNOS 研究助成金		靭帯ロバスト最適化に向けた結合組織における伸張刺激の役割	研究代表者	2021.11-2022.10
7	中富研究科学振興財団 研究助成金		結合組織におけるエストロゲンの合成・分解機構の解明	研究代表者	2022.3-2023.2

8	日本科学協会 笹川科学研究助成	筋芽細胞を対象とした性差におけるメカニカルストレス感受性の検証	研究代表者	2022.3-2023.2
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	発達障害理学療法学・同実習		2	脳性麻痺についての講義
2	身体構造運動学	○	10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
3	運動器理学療法学	○	6	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
4	運動器理学療法学実習		10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
5	医科学研究法		1	理学療法分野における研究内容について講義
6	理学療法研究法		0.5	理学療法分野における研究内容について講義
7	理学療法応用解析学	○	8	生化学実験研究について実習及びハンズオントレーニング
8	障害基礎解析学特論		2	大学院研究の基礎解析分野について講義
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法特別演習		0.5	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説
2	理学療法セミナーⅠ(OSCE1)		8	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
3	理学療法セミナーⅡ(OSCE2)		3	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
4	リハビリテーション学演習(障害基礎解析学)		4	大学院研究の基礎解析分野について演習
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動学実習		10	2年生に対し、運動学についての実習を指導
2	臨床教育実習Ⅰ		2週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
3	臨床教育実習Ⅱ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
4	臨床教育実習Ⅲ		8週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
5	臨床教育実習Ⅳ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
6	ヒューマンケア体験実習		集中	1年生のヒューマンケア体験実習をオンデマンドで実施
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4-2022.3	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2021.4-2022.3	主指導(指導教員) 0名	副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	理学療法学科4年生 副担任	2021.4-2022.3	学生の指導、面談、国家試験対策等を実施	
2	春日部市立看護専門学校(非常勤講師)	2021.4-2022.3	人体の構造と機能に関する講義と試験・国家試験対策	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	臨床実習指導者を対象とした講習会	埼玉県立大学	肩拘縮の理学療法	2021.9
2	八潮中央総合病院 院内講習会	八潮中央総合病院	肩拘縮の理学療法	2021.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県理学療法学会	学術局編集部		2021.4-2022.3
2	専門リハビリテーション研究会	編集委員		2021.4-2022.3
3	第30回埼玉県理学療法学会準備委員	学術局副局長・査読演題部長		2021.4-2022.3

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	(医)草加整形外科内科	院内理学療法士・教育支援 (土曜日第2,4午後)	2021.4-2022.3
2	産業支援	(医)やつか整形外科内科	院内理学療法士・教育支援 (第4金曜日)	2021.4-2022.3
3	産業支援	(医)山手クリニック	院内理学療法士・教育支援 (金曜日第1,3午前・土曜日第1終日)	2021.4-2022.3
4	産業支援	(一般社団法人)ペラーダジュニアーズサッカー学校	アドバイザー・障害予防	2021.4-2022.3
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会	2021.4-2022.3	
2	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学情報センター運営業務委託事業者選定委員会	2021.4-2022.3	
3	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会	2021.4-2022.3	
4	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物管理者 (公私動協 教育研修講習会修了済)	2021.4-2022.3	
5	全学的委員会及びセンター業務等	特別管理産業廃棄物管理責任者 (資格保有)	2021.4-2022.3	
6	該当なし	危険物取扱者免状乙4類 (資格保有)	2021.4-2022.3	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	2021年度 道学教師理事長賞	埼玉県立大学	2022.3	
2	令和3年度 (第34回) 研究助成金受賞	中富研究科学振興財団	2022.3	
3	令和3年度 研究助成金受賞	日本整形内科学研究会	2021.11	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			